



Rotary International

LEAD THE WAY

率先しよう

2006～2007年度

国際ロータリーテーマ：ウィリアム ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.932 / 2006.11.24

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテルTel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／荒木昭文会長

●本日の例会／2006年11月24日第954回例会

◎卓話 イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 (株)オムニサイエンス 代表取締役
藤井 敬一 君

— ●先週報告／2006年11月17日第953回例会 —

副会長報告：

荒木会長へベネファクター
認証状をお渡ししました。



幹事報告：

2006-2007年度行事計画書最新版をボックスへ配布いたしました。変更事項は、4月20日はクラブ協議会の予定でしたが、夜間例会・チャリティーバザーとなりました。クラブ協議会は、4月27日へと変更になりました。

出席報告：

会員57名 / 出席30名・欠席27名 (出席規定免除者5名)
ビジター / NIRMAL SINSH (Singapore)、大西 紀男 (東京南RC)、椎津 忠三 (東京中央RC) 計3名
(順不同・敬称略)

ゲスト / 1名

●次週予告／2006年12月1日第955回例会

◎卓話予定 『これからのロータリー』

東京銀座ロータリークラブ 直前ガバナー
市川 伊三夫 氏

Member's Voice

めんぼう No.66

会員／田村 昭二

私の趣味

私の趣味の一つが将棋です。将棋と言ってもネット上で指す将棋で、もう5千回位指しています。Yahoo ゲームの一つで、レベルが初級・中級・上級・交流の4つのクラスに分かれています。スコアゲームで強ければ強い程持っているスコアポイントは高く、高い人は2000ポイントを超えています。このクラスに入っている人は腕自慢を超えて、実業団とか大学の将棋部で大会に出ている人達です。初めての人には、1200ポイントが与えられて先程のクラスを自分で選んで、同レベルの人と対戦する事が出来ます。同じクラスの人との勝負で15ポイント位が動きます。強い人 (自分よりポイントの高い人) に勝つと大きなポイントが取れ、負けた時にはポイントは余り減りませんので、強い人と弱い人の対戦は数が少ないかも知れませんが、昨年までは相手の性別・年齢・趣味等がプロフィールに書き込まれていましたが、【個人情報保護法】の影響により相手の姿は全く分かりません。

私自身、当初は娘のIDを使用してしましたので、【女性・学生・19歳 etc】で将棋を指してしまっていて、対戦相手はいつも豊富で対戦相手とチャット (パソコン上で会話のように文章のやりとりすること) ができました。殆ど返信をしないのですが、たまに、いたずらで偽女子学生としてチャットをしていると自分自身度を越える事もあり、それを娘に見られ『変態!』と言われ……それからはチャットの返信は止めました。

とはいえ、対戦は5000回以上24時間365日夜中も元日の朝でも対戦相手が居ます。残念ながら中にはマナーの悪い人がいて気分を悪くすることも多々あります。自分の状況が悪くなると突然勝負を捨てて逃げる人 (5分位経つと自分の勝ちになります。)、将棋の基本である対戦相手に挨拶をしない人 (先程のチャットで挨拶をします。)、弱い人を馬鹿にしながら将棋を指す人等、色々な人がいます。将棋という古い文化を持ったものにも礼儀作法の悪さが氾濫してきている様な気がします。趣味的には少し暗い感じもありますが、好きな時にいつでも将棋が出来るということは凄いい事で、今でも時間があるとパソコンの前に座っています。(自分のIDアドレスで……因みに私は現在1,600ポイント位です。)



11月17日 / 18件37,000円 / 本年度累計502,015円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

荒木昭文 / 寒くなってきましたが、皆様風邪にご注意下さい。石井謙次 / 荒木会長、ベネファクターおめでとうございます。松永さん写真いつもありがとうございます。大西紀男 (東京南) / お世話になっております。大ニコニコを預かっております。入沢頼二 / 庄司さん、こんにちは! 18年度の原稿をまとめていただきありがとうございます。渡部一元 / 庄司さん、御苦労様です。村山公士 / 松永さん、いつもいつも写真ありがとうございます。西澤正雄 / この度、何故か～神奈川県警本部長と交通安全協会会長連名で、優良運転者として表彰され、同時に全日本交通安全協会会長から交通安全栄誉章、緑十字銅章を受章しました。原因不明です。尾上寛 / 庄司さん、ニコニコ大変御苦労様です。

2,000円借りました。福島賢哉 / 松永さん、時計塔贈呈式の写真ありがとうございます。岩上義明 / 本日、麻布税務署より署長表彰を頂きます。ありがとうございます。土屋東一 / 10月27日時計塔贈呈式のお写真、ありがとうございます。椎名康允 / 庄司さん、ニコニコ御苦労様です。尾関武男 / 先週例会欠席し、久しぶりに麻布RCに伺って来ました。吉岡琢磨 / 庄司さん、いつも御苦労様です。時計塔完成して一段落しましたネ。長谷川尊一 / スカイアベニュー初です。チャリティーコンサートも楽しみにしています。西澤民夫 / 出張つづきでご無沙汰しています。沖縄・仙台でメイクアップしてきました。庄司さん、御苦労様です。鶴間喜久男 / 昨日のゴルフありがとうございます。尾上さん、椎名さん、石井さんへ。庄司泰典 / しばらくぶりのニコニコ担当です。皆さんありがとうございます。松永さん、写真ありがとうございます。

6. 退会防止について

③ 尾上 寛 会員

私たちの仲間が、このクラブから居なくなるということは、退会とか、そういうことではなく、ただ単純に寂しいという気持ちがあります。そのため、退会を決めるのは今すぐではなくて、考えていただいて残っていただけるなら残っていただきたいと思うのです。仲のいい仲間がお互いの気持ちを考えて、本当の友達だから一緒にやろうよ、ということになり、それが相手に伝わり、最終的には皆さんが快く残っていただいている、ということでもあります。

7. ガバナー補佐統括

秋山ガバナー補佐

私は芝RCにありますが、南RCさんが本家であります。そして赤坂RCも南RCさんが本家であります。お話承っておりまして、我々の芝RCは、赤坂RCさんと、雰囲気が非常に近いなと感じました。非常に皆さん親しくて、心と心が通じ合っているところが、赤坂RCと芝RCが似ていると感じた点です。自分のことを申しまして恐縮でございますが、私はロータリー歴20年になります。今年はガバナー補佐という仕事をやっておりますが、これは時間が相当厳しく、本来の仕事が出来ないほど時間が厳しいものですが、精神的には、それほど、どうってことはありません。一番精神的にきつかったのは、一昨年、会員増強委員長を拝命いたしましてやりましたときです。これは、精神的に参りました。どのようにやっていたか、どこが成功し、どこが失敗したかを申し上げます。はじめは入会者を増やそうということで、会員増強委員会のメンバーをかなり増やしました。今までは5～6人でやっていたものを15人位に増やしました。そこで何をやったかと申しますと、会員増強委員は、1人1会員獲得という目標を立てました。これは、少し無理なところがありました。会員増強委員会に自薦された方はなく、こちらから会員増強委員会になっていただくよう頼み、委員になっていただくからです。これでは、会員増強委員になったと思ったら1人入れてください、というのでは無理があって仕方ありません。最初の段階で、これは無理です、という意見が会員増強委員の中からでました。その時は、何とか5人くらいは獲得できましたが、なかなか先へは進まない状況でした。会長は、「純増はともかく入るほうは10人くらいを目標にしてくれ」ということでしたので、たまりかねまして、全会員の方にご協力いただくようお願いいたしました。最終的には9人くらい入っていただきました。いろいろやり方がありますが、1人会員増強の上手な方がおりますので、その方の方法をご紹介します。その方は、前会長の池田朝彦さんです。池田さんは、毎年4～5人くらい入れております。なぜかと思ひ、聞いてみたり、一緒に行ってみたりしたところ、熱意だということがわかりました。例えば、誰かと話していても突拍子も無いときに「うちのクラブに入ってくれませんか」というように話を持ち出します。何の関係も無いときにでも、話を持ち出し、増強に結びつけてしまいます。いろいろなやり方があると思いますが、こういうやり方を1回、一人ひとりがやってみるという努力があるといいかもしれません。それから、退会防止ですが、これは中央RCの椎津さんがガバナー補佐だったときに、当クラブのクラブ協議会にお見えになるときに、「会員増強委員長から、15分間退会防止をこうやっていきます、という話をしてください」という依頼があり、データーを集めました。やはり3年未満の方が、辞める率が多いようです。それから、なぜ辞めたのかという理由について、

本当のところは何だろう、ということで、一人一人に電話をしたり、おじゃまして致しました。びっくりしたのは、「面白くないから」、「人間関係よくないから」ということがありました。それでは、どうしたらいいかということで、先ほどもお話がありましたが「声をかける」ということに尽きると思ひました。新しい人には、積極的に声をかけたり、メイクアップに連れて行ったり、ロータリーの仕事を解説したりと話をすることだと思ひました。芝RCでは、赤坂RCでもお話をしておりますが、新人の会というのがあります。3年未満の方の会で「青芝会」といいますが、皆で支えあっている会で、これも退会防止につながっていると思ひます。自分のことを「なぜ、ロータリークラブに来るのか」と振り返ってみますと、やはり普通の会社や、競争相手、取引先と話しているのではなく、ロータリーは明るい親切であり、温かみがあると思うことが多くあるからだと感じます。こうなると、「毎週1回来よう」となり、出席率もよく、そして退会率も少なくなるということに繋がります。

申し遅れましたが、赤坂RCさんは今年で20周年ということで、大変おめでとうございます。この20年間、長いようで短かったかと思ひますが、今の雰囲気を拝見いたしまして、本当にいいクラブだなと思ひました。今年の7月から、CLPを採用なさったということで、これも素晴らしいことでございます。伺ってみますと、クラブも20年にきて曲がり角にきた、そのため、ここで1つ新しい体制を作ってみよう、新しい方向を打ち出そうということで、CLPをおやりになったということでした。すばらしいことだと思ひております。

ぜひ、今年度ご努力いただいて、会員増強を達成していけるよう、お祈り申し上げます。今年のスローガンが「これまでも、これからも皆で築こう赤坂ロータリー」ということですが、これは人徳力がございまして、荒木会長の思いが滲みでいるように思ひました次第でございます。

8. 閉会の挨拶

吉田副会長

秋山さん、大徳さん、お忙しいなか、私どものクラブ協議会にご出席いただき、ありがとうございます。私は、2年前に他界した父親が芝RCの創立会員からお世話になっていたこともあり、何度か芝RCさんへメイクアップに伺いました。またロータリーアンになる以前にも遊びがてらに参加させていただいておりました。そのころから、ロータリーはいいものだなあ、と思ひておりました。そして、先ほどガバナー補佐がおっしゃった、当クラブが芝RCと似た雰囲気ということで、物凄く嬉しく思ひました。会員増強についてもご示唆をいただきましたが、当クラブにおいて、今までのガバナー公式訪問・ガバナー補佐の公式訪問でのテーマは、職業奉仕が多く、もう1つとして会員増強があります。今日は、その1つのほうである会員増強でしたが、今までのクラブ協議会とは違った、参考になる、腑に落ちるお話が多々ありました。一言でいいまして、会員増強のポイントは、気軽に声かけ、ちょっと粘って、ちょっと一杯、そのついでに了解をとり、最後の決め手が花束というステップでいくのだと感じました。一番大事なのは、やはり気軽に声かけ、ではないかと思ひます。ぜひ、私もこれからは、そういったことを心がけながら、会員増強に協力していきたいと思ひます。今年度は、20周年記念行事がございしますが、その事業の1つに記念コンサートがございします。その委員長が清水さんで、また、会員増強の委員長も清水さんで、清水さんは色々なところで忙しくて仕方ないという状況にあるかと思ひますが、会員増強は、会員増強委員会だけではなく、会員全員でやるということを肝に銘じて、そして、会員増強の実を实らしていくということに、全力をあげていきたいと思ひます。今日の協議会が、きっかけになればということに切に願ひまして、私の最後のご挨拶とさせていただきます。どうも、ありがとうございます。